

緑 が 丘

「ぼく・わたしが主役」～「自分できめる」「みんなと究める」～

令和8年9月1日発行

三木市立緑が丘小学校



2040年を生きる皆さんへ ～人によることなかれ 自分によれ～

45日間の夏休みが終わり、学校に子どもたちの声をもどってきました。スツキリしたい顔、「おはようございます」のいい声。よく学びよく遊んだのでしょうか。それぞれに充実した時間を過ごしたことがわかります。さあ、2学期が始まります。

さて、文部科学省のホームページに、「あなたが主役の“わくわく”ドキドキ2040年の未来」(右図)や「あなたが創る未来のデザイン」が掲載されています。あと14年後、1年生が20歳を迎える頃です。

「内外の専門家 5,500 人の英知を結集し、**あなたが主役となる 2040 年の社会**……**未来の姿を考えてみませんか**」と記載されています。今の進歩スピードから、より早く実現するものや事もあるでしょう。

はずしてはいけないのは「**ぼく・わたしが主役**」です。

今夏、松山大耕(妙心寺退蔵院副住職)さんのお話をうかがう機会がありました。「京都観光おもてなし大使」や日経ビジネス誌「次代を創る100人」などに選出された方です。この朝も来日したウクライナの高校生 15 人とカレーを 30 人前作り、一緒に食べてきたというエピソードからお話がスタート。元気で、生きる力に満ち溢れているウクライナの高校生と不登校生 35 万人時代の日本。「自分のリアルな人生と比べ、タイパ、コスパが評価されるがちだが『2 倍速』『安い』で豊かな人生になりましたか。」と問題提起されました。超比較社会、数字がないと評価できない社会のしんどさ、幸せを感じにくい現状、思い込み、先入観……。ご自身や義父の生き様のお話の中で、「**人によることなかれ 自分によれ**」の言葉が心に残りました。「**自分自身でちゃんと判断できていますか**」と。超セレブで幸せな顔をしている人はほとんどいないそうです。比較されない人生は爽やかです。比較されないキャリアを積んでいくことが 2040 年を生きる子どもたちの幸せにつながります。足りないのは、そのものさし(価値観)をつくっていく先生と家族以外の大人との接点だそうです

2 学期も、個々の良さや「らしさ」を大切に様々な人、コト、ものとの豊かな出会いの場を意識した教育活動を展開し、「**きょうは ほんとに いいひだな**」(掲載詩)を積み重ねてまいります。なによりも主役である子どもたち自身が考え、磨き合いしていけるよう、ご家庭でも、お声がけいただくと幸いです。(校長 佐野 順子)

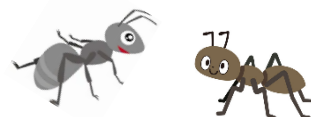


ありんこにつき
ありんこ たくじ

きょうは たくさん あるいたな
あんまり あるいて つかれたな
ハコベの となりで ひとやすみ
ハコベの はなびら ちいさくて
かわいく きらきら ひかってて
おもわず うっとり みとれたよ

おいしい ごちそう みつけたよ
ずっしり かついで おもたいよ
たんぽぽ みあげて ひとやすみ
ころりん ぼやんと ねころんで
のんびり あおぞら ながめたら
まつしろ わたげが ふわふわ

ごちそう いっぱい みつけたし
ともだち いっぱい であつたし
きょうは **ほんとに**
いいひだな!



くどうなおこ「のはらうた」より